

## 学位授与の方針（学部）

### 文学部

文学部の目的を達成するために、卒業時に身に付けておくべき5つの資質・能力を定め、所定の期間在籍し、所定の単位を修得したことをもって、教育目標を達成したものとみなし、学士の学位を授与する。

#### （1） 自立性・自律性・主体性〔DP1〕

自分自身のものの見方・考え方は、まだ不十分で発展途上にあることを自覚し、自分がもともと具えている力を見出す「己事究明」を通じて、より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、いかなる状況にあっても自立性と自律性を持って、主体的に行動することができる。

#### （2） 知識・理解〔DP2〕

仏教学、日本史学、日本文学に関する専門的知識を体系的に理解して修得し、具体的に活用することができる。また、そのことを通じて、自分とは異質な他者を含めて、あらゆる多様性を理解して受け容れることができる。

#### （3） 思考・判断〔DP3〕

仏教学、日本史学、日本文学に関する学びを通じて、情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付け、問題・課題を解決することができる。

#### （4） 技能・表現〔DP4〕

他者の思いや考えを正確に理解するとともに、自らの思いや考えを的確に表現して意見を交わすことができる。また、情報を収集・分析し、その内容を正確に判断して、活用することができる。

#### （5） 態度・志向〔DP5〕

他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、修得した知識、思考力、判断力、技能等を活用して、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができる。

## 社会福祉学部

社会福祉学部の目的を達成するために、卒業時に身に付けておくべき5つの資質・能力を定め、所定の期間在籍し、所定の単位を修得したことをもって、教育目標を達成したものとみなし、学士の学位を授与する。

### (1) 自立性・自律性・主体性〔DP1〕

自分自身のものの見方・考え方は、まだ不十分で発展途上にあることを自覚し、自分がもともと具えている力を見出す「己事究明」を通じて、より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、いかなる状況にあっても自立性と自律性を持って、主体的に行動することができる。

### (2) 知識・理解〔DP2〕

社会福祉学、臨床心理学、児童福祉学に関する専門的知識を体系的に理解して修得し、具体的に活用することができる。また、そのことを通じて、自分とは異質な他者を含めて、あらゆる多様性を理解して受け容れることができる。

### (3) 思考・判断〔DP3〕

社会福祉学、臨床心理学、児童福祉学に関する学びを通じて、情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付け、問題・課題を解決することができる。

### (4) 技能・表現〔DP4〕

他者の思いや考えを正確に理解するとともに、自らの思いや考えを的確に表現して意見を交わすことができる。また、情報を収集・分析し、その内容を正確に判断して、活用することができる。

### (5) 態度・志向〔DP5〕

他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、修得した知識、思考力、判断力、技能等を活用して、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができる。

## 学位授与の方針（学科）

### 仏教学科

仏教学科の目的を達成するために、卒業時に身に付けておくべき5つの資質・能力を定め、所定の期間在籍し、所定の単位を修得したことをもって、教育目標を達成したものとみなし、学士の学位を授与する。

(1) 自立性・自律性・主体性〔DP1〕

自分自身のものの見方・考え方は、まだ不十分で発展途上にあることを自覚し、自分がかつと具えている力を見出す「己事究明」を通じて、より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、いかなる状況にあっても自立性と自律性を持って、主体的に行動することができる。

(2) 知識・理解〔DP2〕

仏教学に関する専門的知識・技術を体系的に理解して修得し、具体的に活用することができる。また、そのことを通じて、自己とは異質な他者を含めて、あらゆる多様性を理解して受け容れることができる。禪的な自己追求の方法や仏教の歴史・思想についての知識、宗教者としての社会的実践についての知識などを習得するとともに、専門道場での修行につながる基本的所作を身に付けて実践できる。

(3) 思考・判断〔DP3〕

仏教学に関する学びを通じて、情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付け、問題・課題を解決することができる。現代社会における問題・課題を仏教学的に分析して、解決策を提示することができる。

(4) 技能・表現〔DP4〕

他者の思いや考えを正確に理解するとともに、自らの思いや考えを的確に表現して意見を交わすことができる。また、情報を収集・分析し、その内容を正確に判断して、活用することができる。宗教者として社会実践に必要なコミュニケーション能力を身に付け、それを活用することができる。

(5) 態度・志向〔DP5〕

他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、修得した知識、思考力、判断力、技能等を活用して、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができる。宗教者として必要な価値観・倫理観を身に付け、専門的知識・技術に基づいた社会実践を通じて、社会に貢献することができる。

## 日本史学科

日本史学科の目的を達成するために、卒業時に身に付けておくべき5つの資質・能力を定め、所定の期間在籍し、所定の単位を修得したことをもって、教育目標を達成したものとみなし、学士の学位を授与する。

### (1) 自立性・自律性・主体性〔DP1〕

自分自身のものの見方・考え方は、まだ不十分で発展途上にあることを自覚し、自分がかつと具えている力を見出す「己事究明」を通じて、より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、いかなる状況にあっても自立性と自律性を持って、主体的に行動することができる。

### (2) 知識・理解〔DP2〕

日本史学に関する専門的知識・技術を体系的に理解して修得し、具体的に活用することができる。また、そのことを通じて、自己とは異質な他者を含めて、あらゆる多様性を理解して受け容れることができる。

### (3) 思考・判断〔DP3〕

日本史に関する学びを通じて、情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付け、問題・課題を解決することができる。現代社会における問題・課題を日本史学の視点から分析して、解決策を提示することができる。

### (4) 技能・表現〔DP4〕

他者の思いや考えを正確に理解するとともに、自らの思いや考えを的確に表現して意見を交わすことができる。また、情報を収集・分析し、その内容を正確に判断して、活用することができる。

### (5) 態度・志向〔DP5〕

他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、修得した知識、思考力、判断力、技能等を活用して、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができる。

## 日本文学科

日本文学科の目的を達成するために、卒業時に身に付けておくべき5つの資質・能力を定め、所定の期間在籍し、所定の単位を修得したことをもって、教育目標を達成したものとみなし、学士の学位を授与する。

(1) 自立性・自律性・主体性〔DP1〕

自分自身のものの見方・考え方は、まだ不十分で発展途上にあることを自覚し、自分がもともと具えている力を見出す「己事究明」を通じて、より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、いかなる状況にあっても自立性と自律性を持って、主体的に行動することができる。

(2) 知識・理解〔DP2〕

日本文学・現代文化・書道に関する専門的知識・技術を体系的に理解して修得し、具体的に活用することができる。また、そのことを通じて、自己とは異質な他者を含めて、あらゆる多様性を理解して受け容れることができる。

(3) 思考・判断〔DP3〕

日本文学・現代文化・書道に関する学びを通じて、情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付け、問題・課題を解決することができる。現代社会における問題・課題を日本文学・現代文化・書道の視点から分析して、解決策を提示することができる。

(4) 技能・表現〔DP4〕

他者の思いや考えを正確に理解するとともに、自らの思いや考えを的確に表現して意見を交わすことができる。また、情報を収集・分析し、その内容を正確に判断して、活用することができる。

(5) 態度・志向〔DP5〕

他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、修得した知識、思考力、判断力、技能等を活用して、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができる。

## 社会福祉学科

社会福祉学科の目的を達成するために、卒業時に身に付けておくべき5つの資質・能力を定め、所定の期間在籍し、所定の単位を修得したことをもって、教育目標を達成した

ものとみなし、学士の学位を授与する。

(1) 自立性・自律性・主体性〔DP1〕

自分自身のものの見方・考え方は、まだ不十分で発展途上にあることを自覚し、自分がもともと具えている力を見出す「己事究明」を通じて、より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、いかなる状況にあっても自立性と自律性を持って、主体的に行動することができる。

(2) 知識・理解〔DP2〕

社会福祉に関する専門的知識と社会福祉実践に関する技術を体系的に理解して修得し、具体的に活用することができる。また、そのことを通じて、自己とは異質な他者を含めて、あらゆる多様性を理解して受け容れることができる。社会的に弱い立場にある人々の多様な存在を理解して受け容れることができる。

(3) 思考・判断〔DP3〕

社会福祉学に関する学びを通じて、情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付け、問題・課題を解決することができる。現代社会における社会福祉学的問題・課題を発見して、解決策を提示することができる。

(4) 技能・表現〔DP4〕

他者の思いや考えを正確に理解するとともに、自らの思いや考えを的確に表現して意見を交わすことができる。また、情報を収集・分析し、その内容を正確に判断して、活用することができる。社会福祉援助者として必要なコミュニケーション能力を身に付け、それを活用することができる。

(5) 態度・志向〔DP5〕

他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、修得した知識、思考力、判断力、技能等を活用して、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができる。社会福祉援助者として必要な価値観・倫理観を身に付け、専門的知識・技術に基づいた社会福祉の実践を通じて、社会に貢献することができる。

## 臨床心理学科

臨床心理学科の目的を達成するために、卒業時に身に付けておくべき5つの資質・能力

を定め、所定の期間在籍し、所定の単位を修得したことをもって、教育目標を達成したものとみなし、学士の学位を授与する。

(1) 自立性・自律性・主体性〔DP1〕

自分自身のものの方・考え方は、まだ不十分で発展途上にあることを自覚し、自分自身もともと持っている力を見出す「己事究明」を通じて、より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、いかなる状況にあっても自立性と自律性を持って、主体的に行動することができる。

(2) 知識・理解〔DP2〕

心理学や精神保健など臨床心理学に関する専門的知識・技術を体系的に理解して修得し、具体的に活用することができる。また、そのことを通じて、自己とは異質な他者を含めて、あらゆる多様性を理解して受け容れることができる。社会的に弱い立場の人々やメンタルヘルスに課題を持つ人々の多様な存在を理解して受け容れることができる。

(3) 思考・判断〔DP3〕

心理学や精神保健など臨床心理学に関する学びを通じて、情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付け、問題・課題を解決することができる。現代社会における心理学的問題・課題やメンタルヘルスの問題・課題を発見して、解決策を提示することができる。

(4) 技能・表現〔DP4〕

他者の思いや考えを正確に理解するとともに、自らの思いや考えを的確に表現して意見を交わすことができる。また、情報を収集・分析し、その内容を正確に判断して、活用することができる。臨床心理の実践者として必要なコミュニケーション能力を身に付け、それを活用することができる。

(5) 態度・志向〔DP5〕

他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、修得した知識、思考力、判断力、技能等を活用して、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができる。臨床心理の実践者として必要な価値観・倫理観を身に付け、専門的知識・技術に基づいた臨床心理の実践を通じて、社会に貢献することができる。

## 児童福祉学科

児童福祉学科の目的を達成するために、卒業時に身に付けておくべき5つの資質・能力を定め、所定の期間在籍し、所定の単位を修得したことをもって、教育目標を達成したものとみなし、学士の学位を授与する。

### (1) 自立性・自律性・主体性〔DP1〕

自分自身のものの見方・考え方は、まだ不十分で発展途上にあることを自覚し、自分がかもともと具えている力を見出す「己事究明」を通じて、より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、いかなる状況にあっても自立性と自律性を持って、主体的に行動することができる。

### (2) 知識・理解〔DP2〕

子どもの健全な成長や学習を支援するための児童福祉に関する専門的知識・技術を体系的に理解して修得し、具体的に活用することができる。また、そのことを通じて、自己とは異質な他者を含めて、あらゆる多様性を理解して受け容れることができる。社会的に弱い立場にある人々の多様な存在を理解して受け容れることができる。

### (3) 思考・判断〔DP3〕

児童福祉学に関する学びを通じて、情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付け、問題・課題を解決することができる。現代社会における児童福祉学的問題・課題を発見して、解決策を提示することができる。

### (4) 技能・表現〔DP4〕

他者の思いや考えを正確に理解するとともに、自らの思いや考えを的確に表現して意見を交わすことができる。また、情報を収集・分析し、その内容を正確に判断して、活用することができる。子ども支援の実践者として必要なコミュニケーション能力を身に付け、それを活用することができる。

### (5) 態度・志向〔DP5〕

他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、修得した知識、思考力、判断力、技能等を活用して、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができる。子ども支援の実践者として必要な価値観・

倫理観を身に付け、専門的知識・技術に基づいた子ども支援の実践を通じて、社会に貢献することができる。